

# ウイルスにも菌にも対応する 食品添加物アルコール製剤 V-ZERO スプレー

「アルコール除菌ならどれも同じ」ではありません!  
ウイルスと菌の両方に対応できる確実性。  
さらにエンベロープ有無どちらにも対応。



従来型のスプレーは...

- ◎容器の使い回しが不衛生
- ◎こぼれる
- ◎コストがかかる
- ◎ゴミがかさばる



◎セットは簡単!

ノズルを  
差し込んで  
回すだけ!



パウチを  
差し込む  
だけ!



V-ZERO SPRAYは

- ◎こぼれない!
- ◎手が汚れない!
- ◎外気に触れない!
- ◎異物が混入しない!
- ◎小さく丸めてポイ!
- ◎低コストでゴミが小さい!
- ◎使い捨てで衛生的!



V-ZERO スプレー

食品添加物のみで設計・精製

成分

エタノール、水、乳酸、  
乳酸ナトリウム、グリセリン脂肪酸エステル、  
クエン酸、ソルビタン脂肪酸エステル、  
グリシン、ミョウバン

トイレ診断士  
言人  
第14回

## 佐藤満春のトイレな話

シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

### 2020年 オリンピックイヤー

2020年になりました。東京オリンピック・パラリンピック開催まで、いよいよカウントダウンが始まっています。「だれでもトイレに行きやすい環境作り」は、かねてから叫ばれている課題です。

オリンピックの基本理念を示した「オリンピック憲章」と呼ばれるものがあります。2014年、その憲章に「性的指向による差別の禁止」という文言が新たに盛り込まれたそうです。LGBTの方も行きやすいトイレをもっと作ってほしいという声も明確になってきました。

1964年の東京五輪は世界中からたくさんの方が来るということで和式トイレから洋式

イレへの移行の動きが明確になった年です。1977年には工事も容易な洋式トイレが、和式トイレの生産数を抜いたそうです。ちなみにトイレに使われているビクトグラムも、オリンピックで世界中の国から訪れる方のために考案されたものです。



東京オリンピック・パラリンピックに向けて、LGBTの人たちだけでなく、障がいを持っている方、赤ちゃんを連れている方などが使いやすい「だれでもトイレ」と呼ばれるトイレの設置

が急ピッチで進められています。新しく建築された商業施設では、必ずといっていいほど「だれでもトイレ」があります。

ただ、今問題になっているのは「意図しないカミングアウト」です。見た目の性別と違うトイレに入ることや、だれでもトイレにしか行かないということに勝手な意味づけられる可能性が生まれます。そこで、最近では入り口をわからないようにするトイレの工夫もされているそうです。

まだまだ課題もあるトイレの問題ですが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを機に、また新たな課題をクリアできるといいなと思います。

佐藤 満春 (さとらみつはる)  
お笑いコンビとどきどきキャンプの片割れ。趣味のトイレ好きが広がりを見せ、2011年11月電子書籍「佐藤満春のトイレ公論」を発表。自らもトイレ掃除に参加するなど自他共に認めるトイレ好きである。名誉トイレ診断士

編集後記

このかわや版の編集作業をしている2月初め現在、新型コロナウイルスが猛威を振るい、次々と新しい感染者のニュースが飛び込んできます。スーパーやドラッグストアでもマスクや消毒液の棚が空っぽになりました。災害時にも役立つマスクやアルコールスプレーはある程度備蓄しておかなければと思っています。この号が皆様のお手元に届く3月には事態が収束していることを願うばかりです。

#### Information!

第20回JAPANドラッグストアショーに出展します。

日時：2020年3月19日(木)～21日(土)  
10:00～17:00(20、21日が一般公開日)

場所：幕張メッセ



#### あなたの町のアメニティネットワーク

コンナ イイトレ  
アメニティ本部フリーダイヤル ☎0120-57-1110

http://www.amenity-network.net/  
Amenity Network  
【発行所】株式会社アメニティ  
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町685  
TEL:045-371-7676(代) FAX:045-371-7717  
Copyright © 2004 AMENITY INC. All rights reserved.

# かわや版

トイレを楽しくする新聞

2020 春号  
Vol.83

## 高速道路のトイレ Highway Toilet

高速道路を利用した旅には欠かせない  
サービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)のトイレ。

近年、SA・PAのトイレがよりいっそう  
きれいに快適になったのをご存知ですか?

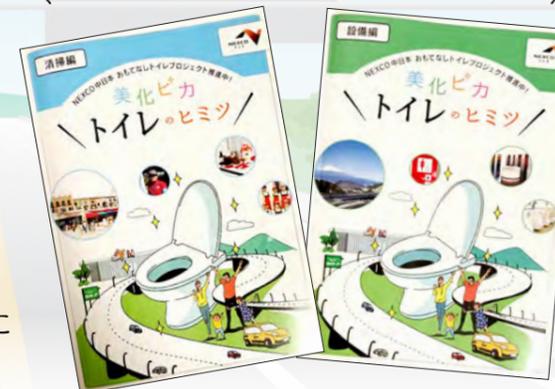
そこには、驚きの技術や工夫が詰まっています。

高速道路の保全やSA・PAの運営を手がける  
NEXCO中日本が快適トイレの秘訣を  
冊子にまとめました。

題して「美化ピカトイレのヒミツ」。

今回はその一部をトイレを清掃するエリアキャストの皆様にご紹介いただきます。

### 美化ピカトイレのヒミツ



#### 1 スゴワザマスター

1日最大6万人が利用する、日本一利用者数の多い  
“海老名SA”のトイレのエリアキャストは、実はわずか7人。

東名高速で東京から名古屋方面へ出発すると、ほとんどの車・バスが最初に休憩するスポット。それが“海老名SA”です。とくに、大型バス・観光バスの利用が多く、もっとも混雑する時期には、1日で6万人ものお客さまにお立ち寄りいただくことも。その分、便器の数も多く、男女合わせてなんと224基。実はわずか7人で“キレイ”を保っているのです。

トイレ掃除には、大きく分けて基本清掃(1日1回行う、洗剤やブラシを使ったりいわゆるトイレ掃除)と巡回清掃(1日6回～7回定期的に見回り、トイレトーパーの補充や汚れた部分の清掃を行う)の2つがあります。海老名SAの場合、たくさんのお客さまにご利用いただいているため、掃除のタイミングがとても難しく、場合によっては1個室に20分かかるとも。しかし、海老名SAのエリアキャストは敏腕揃い。午後のお客さまが一瞬引いたタイミングを見計らって、素早くキレイに徹底的に、基本清掃を実施しています。巡回清掃も海老名SAだけは24時間体制で行っています。おかげさまで、お客さまからは高い評価をいただいています。



#### 2 最新技術

EXPASA足柄(下り)で実験中!押せば数分で  
エリアキャストが飛んでくる“清掃依頼ボタン”

NEXCO中日本のSA・PAのトイレには、男女、多機能トイレを合わせると、なんと約9,000もの便器が設置されています。それらは、お客さまに快適にご利用いただけるよう、日々キレイに清掃されています。しかし、万が一、お客さまがエリアキャストよりも先にトイレの汚れを発見された場合に、速やかに対応できないかとわたしたちは考えました。そして生まれたのが、実験的にEXPASA足柄(下り)で実施している“清掃依頼ボタン”。



ボタンを押すとわずか数分でエリアキャストが到着→汚れている箇所を確認→すぐさま清掃を実施→キレイに解決!この間わずか約15分。

もしも、EXPASA足柄(下り)のトイレで汚れを見つけたら、“清掃依頼”ボタンを押してエリアキャストにお知らせください。

### 3 最新技術

#### 2分以上待たせない!?“最適トイレ数”の算出方法が『日本トイレ大賞～国土交通大臣賞～』受賞

トイレ大賞とは、政府の「暮らしの質」向上検討会の提言により2015年から創設された新しい取り組み。この栄えある第1回の受賞28施設(活動)のひとつが、新東名高速道路のNEOPASA清水のトイレです。



快適なロビー空間や、ユニバーサルデザイン、使いやすく清潔なパウダールームなど、最新の設備はもちろん、なんと言っても評価の対象となったのが“最適トイレ数”の算出方法。2分(※)以上待たせないをコンセプトに、トイレの利用率のログデータを集め、そのビッグデータを独自のロジックで解析。むだに多すぎず、けっして少なすぎない、“行列ができないトイレの数”をずばり算出することに成功したのです。この“最適トイレ数”の算出方法は、受賞したNEOPASA清水以外にも、新東名高速道路の各SA・PAでも導入済みです。(※お客さまの声を踏まえて設定した許容待ち時間です。)

### 4 最新技術

#### 気づけば、タイルからゴムへ替わっていた!?トイレの床の謎。

皆さん、お気づきでしょうか?実はSA・PAのトイレの床が次々とタイルからゴムへ交換されていることを。以前は、右上の写真のように床も壁もタイル張りでした。もちろんそれには理由があり、その当時は臭気対策・清掃作業の効率上、タイルが最適だったのです。しかし、床に水を流す清掃方式だったため、清掃後はどうしても床がすべりやすく、お客さまの足元も濡らしてしまうというデメリットがありました。水が乾くまでトイレを封鎖すれば、これらの問題も解決しますが、その間、お客さまがトイレを使えなくなってしまいます。そこで導入したのが、デパートで使用されているようなゴムの床。全面を濡らすことなく清掃ができ、乾かす時間も不要なため、お客さまをお待たせする時間が大幅に短縮。お客さまからは「匂わない」「濡れない」「清潔感がある」と好評価。時代の流れ、技術の進化と共に、少しずつでも着実に変わり続けています。



## 美化ピカトイレのヒミツ

### 5 トイレ診断士

#### すべてのトイレは、「トイレ診断士」のお墨付き!

「トイレ診断士」とは、アメニティネットワークの社内検定制度で、2003年には厚生労働省にも認定されたものです。学科試験および実技試験を突破した、いわばトイレのプロフェッショナル。彼らの基本的な考え方は、トイレのトラブルを表層的に解決するだけでなく、発生しうるトラブルを予防し、効率的かつ衛生的にトイレを維持管理するというもの。必要な場合は、解決や維持管理の方法まで提案してくれます。

わたしたちは、見た目や臭いなど感覚に頼っていた清掃判断を「トイレ診断士」から具体的なプロの判断基準を学び、スタッフ全員のさらなるレベルアップを図っています。



その診断はとても厳しく、臭気から始まり、換気、照度、湿度、不快指数など、見た目の汚れだけではなく、トイレの総合診断を行い、結果を具体的に数値で示します。年に一度、NEXCO中日本のすべてのSA・PAで実施しています。改善点も同時に提案してもらい改善することで、快適で清潔に保っています。

高速道路が民営化されてから約15年、NEXCO中日本では、トイレに対するお客さまからの声やご要望に真摯に向き合い、清掃や設備の改善に取り組んできたそうです。そのかいあって、2010年から2017年の7年間の間にお客さまからの褒め言葉が3倍にも増え、ご意見よりも褒め言葉が上回る、うれしい状況になりました。そんなトイレの取り組みの集大成として、この「美化ピカトイレのヒミツ」が発行されました。しかしこれがゴールではありません。今年は東京オリンピックパラリンピックが控えています。すべてのお客さまが快適にトイレを利用できるように、清掃現場の経験や、いただいたお客さまの声から、高速道路のトイレはまだまだ進化を続けています。

高速道路でお出かけの際には、是非、あなただけの「美化ピカトイレのヒミツ」をみつけてみてください。

ここでご紹介できなかった「美化ピカトイレのヒミツ」がこちらのQRコードからご覧いただけます。「トイレの和洋の黄金比」「トイレに行列ができないヒミツ」など、気になるトピックスがいっぱいです。



## まだ災害用トイレが手元にない83.1%のあなたへ ～災害用トイレさんからの手紙～



拝啓 春らしい陽ざしを感じる今日この頃、いかがお過ごしですか?

さて、この度はあなたにお願いがあってお手紙を書いています。

阪神淡路大震災から25年、東日本大震災から8年が経ちました。多くの災害の経験から、「お水」さんや「食べ物」さんは家に備えてもらってると聞いています。

ただ、私、「非常用トイレ」を家に置いてくれる人がとても少なく(※1)、悲しい気持ちになっています。

考えてみてください。今この瞬間に大きな災害が起こった場合、

食べ物、水、トイレ、最初に必要になるのは何ですか?(※2)

そう、食べ物と水はある程度がまんできても、トイレはがまんできません。家のトイレが使えなかったら避難所のトイレを使えばいいって?

それがすぐには使えないのです。(※3)

少なくとも避難所が整備される災害直後3日間は、ご自身で用意した災害用トイレが必要なのです。

「災害は忘れころにやってくる」とは言いますが、

昨今では忘れる暇もなくやってきます。

いざという時には必ずあなたと、大切なご家族の命を守るのにお役にたちます。

どうか、私をいつもあなたのそばに置いてください。

これが私からの切なる願いです。

天候の変わりやすい折、何卒ご自愛ください。

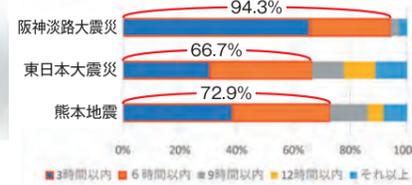
敬具

### DATA

※1 災害用品として自宅に備えている人の割合  
飲料水60.2%  
食料品47.7%  
災害用トイレ16.9%。



※2 発災後6時間以内にトイレに行きたくなくなった人の割合  
阪神淡路大震災 94.3%  
東日本大震災 66.7%  
熊本地震 72.9%。



※3 東日本大震災のとき、「避難所に仮設トイレが行き渡るのに要した日数が3日以上」と回答した自治体はわずか34%。



(参考:「災害対策トイレ情報ガイド」2019 特定非営利活動法人日本トイレ協会)